

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
キャリア設計 I				塩見 直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	4 年次	演習	※「キャリア探究」から 持ち上がり	
授業の概要 (Course Description)					
この授業では、3年次までの実践的学習をふまえて、大学卒業後のキャリアを設計することを目的とする。本クラスは主として、まちづくり、地域資源発掘、市民の潜在性の発揮、ローカルメディア、ローカルビジネス、社会起業、ソーシャルデザインなどを関心分野とする学生を対象とする。本授業では特に感性を育み、創造人材として、自己と地域の未来を切り拓いていける力をつけることを目的とする。					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
①気づく力、時代の流れを察知する力、感性を磨く。②他者の魅力や想いを引き出す力、コミュニケーション能力をつける。③言語化能力、キーワード作成能力、コンセプトメイクの能力をつける。④考える力、新しい社会を構想する力、独創性を育む。⑤ソーシャルデザインできる力、社会に変化をもたらす力を育む。					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス 本講義の進め方と各自の進路について				
第 2 回	気づく力を高める (毎時のテーマを設定)				
第 3 回	時代の流れを察知する力をつける				
第 4 回	感性を磨く				
第 5 回	他者の魅力や想いを引き出す力をつける				
第 6 回	対話、傾聴能力をつける				
第 7 回	言語化能力を高める				
第 8 回	キーワード作成能力を育む				
第 9 回	コンセプトメイクの能力をつける				
第 10 回	(地域) 編集力をつける				
第 11 回	考える力をつける				
第 12 回	新しい社会を構想する力をつける				
第 13 回	独創性を育む				
第 14 回	新しい組み合わせをつくる力を身につける				
第 15 回	未来をデザインする力を育む まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
自己を高めることに敏感であること					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (40%) 課題 (60%)	秀:情報収集・分析に秀で、問題点を論理的・客観的に把握し、首尾一貫した論理的な報告発表ができる。 優:情報収集・分析を適切に行い、問題点を把握し、首尾一貫した論旨の報告・発表ができる。 良:一定の情報収集・分析ができ、問題点を把握して、その報告発表ができる。 可:情報収集・分析をして、その成果につき、一定の発表ができる。 不可:情報収集が不十分で、報告発表の内容が不十分である。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	個別に紹介する。
備考 (Other Information)	欠席厳禁。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール (conceptforx@gmail.com) で連絡すること。